

努力賞

わすれられないおくりもの

荒川区立第一日暮里小学校 三年

白石 多瑛

やなぎだ先生こんにちは。お元気ですか？わたしは元気です。

この本をえらんだ理由は、ぜったいにわすれられないおくりものがあるけれど、だれからもらったのだろうとふしぎに思ったので、読んでみました。

この本は、わすれられないほどのおくりものをおとしよりの友だちにもらい、おれいを言う前に、そのおとしよりの友だち、アナグマさんはしんでしまっさいご、モグラがみんなのかわりに空にむかってありがとう。と言います。

心のこつたことは、アナグマさんにおくりものをもらってありがとうがいえなくてみんなが泣いた場面です。それからしんでしまっさいごで思い出を話します。アナグマとキツネの思い出は、昔、ネクタイがまけなくてアナグマさんが教えてくれたこと。やウサギのおくさんのおりょうりも、アナグマが教えてくれたことです。私は、人がしんでしまっさいご、もらったおくりものは何か、どういふふうにいっつもらったのかを話したのやさしいな、と思ったからです。

私にはまだ友だちがしんでしまったことはありません。自分には、そのけいけんがないのでキツネやモグラ、ウサギなどの気もちやかなしみはわからないけれど、そのおくりものは、アナグマがしんでしまっさいご、さいごのやさしさをこめて、

その動物たちに合わせてくれました。

人のしんでしまった気もちはわからないけれど
その人のやさしさはわかる気がします。

この本を読んでみて自分の生活をふりかえって
みて大切だと思ったことは、友だちとなかよくす
るための気もちです。それから友だちとケンカを
しないことともだちにおもいきりおこったりし
ないことだと思つのでこれからもやらないでい
こうと思いました。